



# 定温輸送容器 Thermostable Cell Transporter

## 蓄熱材タイプ 20℃ TypeB

### Cat. No. TCT-B20

2020年9月29日作成

[www.cosmobio.co.jp](http://www.cosmobio.co.jp)

ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みいただき、安全に正しくお使いください。

#### 【Ⅰ】製品仕様

- ・輸送用発泡スチロール箱 TypeB  
 サンプルスペース：130 × 90 × 140mm (24well プレート× 4 枚分相当)  
 培地ボトルスペース：250 mL × 1 本分
- ・蓄熱材 20℃用 F-20 (480 g × 4 個)
- ・外装バック (外寸：395 x 310 x 250 mm)

#### 【Ⅱ】蓄熱材の予熱・予冷

本製品に使用しております蓄熱材 F-20 は、事前に予熱または予冷が必要です。次の条件で必ず 2 日間以上、予熱、予冷を行ってください。

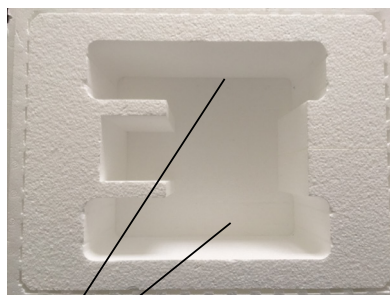
- ・輸送時の平均外気が 20℃以下の場合：23 ～ 30℃で予熱 (透明ゼリー状で使用)
- ・輸送時の平均外気が 20℃以上の場合：10 ～ 17℃で予冷 (白色固化した状態で使用)

※密着して積み重ねると内部の予熱・予冷が不十分になります。蓄熱材間に隙間をつくるなどして、内部まで熱が十分伝わるようにしてください。

#### 【Ⅲ】梱包方法

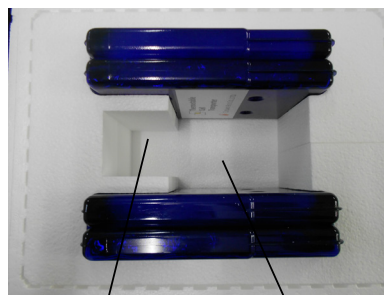
- (1) 蓄熱材 F-20 (480 g × 4 個) を予熱または予冷します。
- (2) 輸送用発泡スチロール箱内の両壁にそって 480 g の蓄熱材を各 2 個セットします (図 2)。
- (3) 培養プレート、培地ボトルなどを入れます。必要に応じてエアクッション、ガーゼ等の緩衝材で隙間を埋め、ボトルなどを固定して下さい。(図 3)。

図 1



蓄熱材スペース

図 2



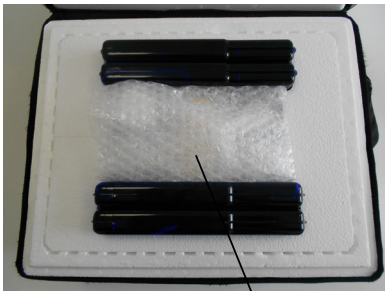
ボトルスペース サンプルスペース

図 3



- (4) サンプル上部をエアクッション、ガーゼなどの緩衝材で隙間を埋めます (図4)。  
ただし、過剰な緩衝材はふたの密閉を妨げるため、ご注意ください。
- (5) 外装バックのふたをマジックテープでしっかり固定します (図5、図6)。
- (6) 密閉後の輸送容器は常温にて輸送可能です。

図4



緩衝材

図5



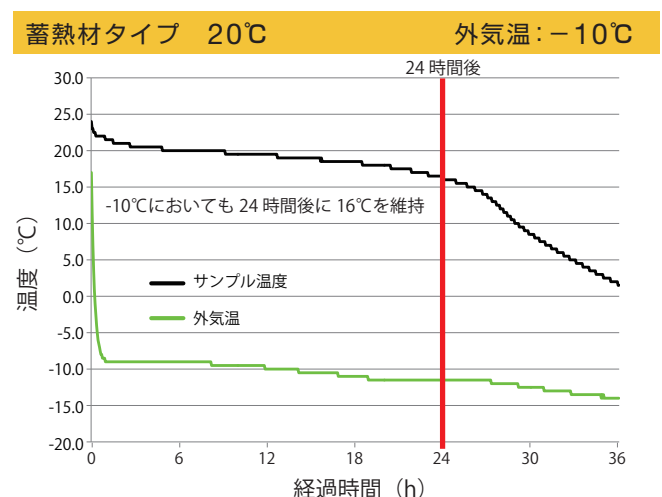
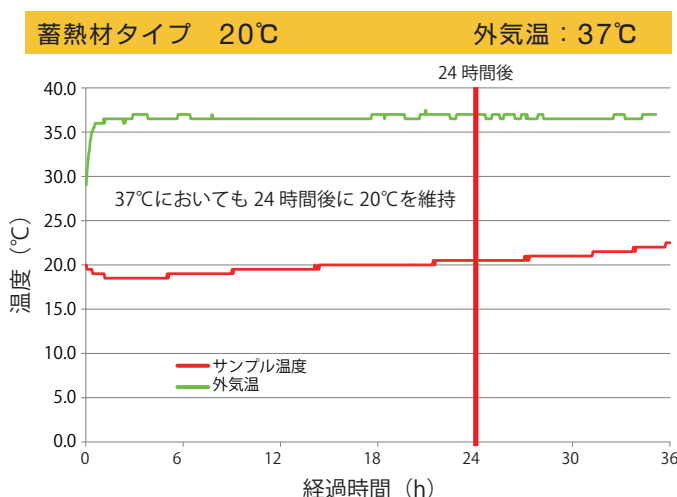
図6



#### 【IV】 その他

- 輸送用発泡スチロール箱および蓋は消耗品です。使用に伴い、蓋の密閉度が劣化した場合は、新しい箱に交換が必要です。交換用品の購入に関しては弊社営業部にお問い合わせください。
- 猛暑時期、極寒時期、または、設定温度と著しく異なる環境 (車内など) に放置した場合は、温度精度が落ちます。外気温や輸送中の置き場所などにはご注意ください。
- バッテリータイプの定温輸送容器 Thermostable Cell Transporter バッテリータイプ 5℃ / 20℃ / 32℃ もございます。

#### 【V】 蓄熱材タイプ 20℃ 温度データ例



12401



コスモ・バイオ株式会社  
COSMO BIO CO., LTD.

〒135-0016 東京都江東区東陽 2-2-20 東陽駅前ビル  
URL : <http://www.cosmobio.co.jp/>

● 営業部 (お問い合わせ)  
TEL : (03) 5632-9610 FAX : (03) 5632-9619  
TEL : (03) 5632-9620

● 札幌事業部 (技術的なお問い合わせ)  
TEL : (0134) 61-2301 FAX : (0134) 61-2295  
E-mail : [primarycell@cosmobio.co.jp](mailto:primarycell@cosmobio.co.jp)